

働く女性の健康に影響する条件について

研究代表者 東京産業保健推進センター所長

佐々木健雄

主任研究者 東京産業保健推進センター相談員

香川 順

共同研究者 東京産業保健推進センター相談員

山口いづみ 岩舩展子

1. はじめに

女性は妊娠・出産などの母性のリズムをもち、育児・介護などの中心的役割を担いながらの労働生活である。アンケート調査を通じて、都市で働く女性の労働時間・仕事の量・満足度・身体への影響を年齢別に明らかにして発表した。今回は職業生活満足度とプライベート生活満足度別に検討を加え、影響を与えている条件を抽出した。

2. 方法

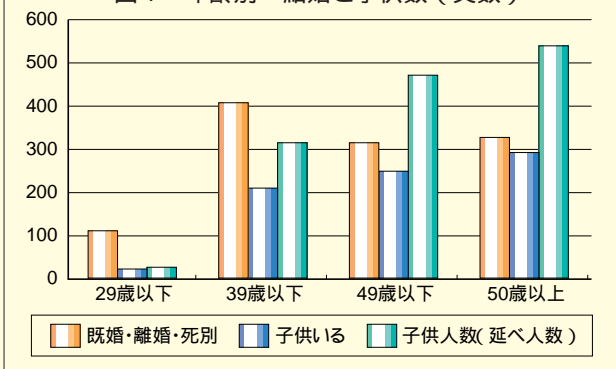
東京産業保健推進センター受講者、講演会場、各区女性センターと講演会場、保健所にて直接アンケート用紙を配布し、個人毎に記入して推進センターへ郵送する方法である。約6000人に配布し、2081人で33%の回収率であった。条件の異なるパート従業員178名を除いた1886名で検討を加えた。調査票はダブルエントリー方式でコンピューターに入力し、解析用データセットを作成した。すべての集計はSAS System6.12を用いた。

3. 結果

・結婚・子供 20歳代464名、30歳代684名、40歳代396名、50歳代以上342名で既婚846名(20歳代19%、30歳代49%、40歳代54%、50歳代59%)、未婚862名、離婚・

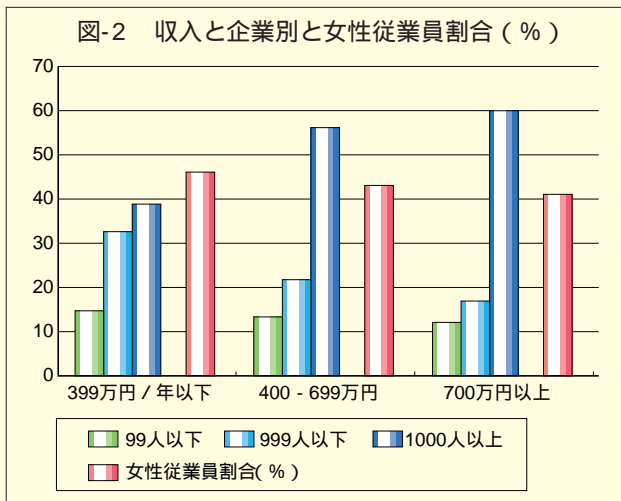
死別175名であった。子供ありの661名中、一人は233名、二人は323名、3人以上が88名で、年代が若いほど子供の人数が少なかった(図1)。

図1 年齢別 - 結婚と子供数(実数)



・労働時間と出張・交代勤務・片道通勤時間...既婚者も時間外労働や泊まりがけ出張と交代勤務あるが、未婚者の方が勤務時間8.8時間、時間外勤務12.7時間/月、泊まりがけ出張25日/年と多くなっていた。(図1)

・収入と企業規模と女性従業員割合 企業規模は5000人以上267名、1000人以上661名、100人以上484名、99人以下261名であった。女性従業員割合は平均43.8%で、39歳以下が39.9%で、50歳以上は50%で高齢になるほど女性従業員の多い職場環境であった。収入は企業規模が大きくなると多く、女性従業員割合が40.6%と少ない程高収入であった(図-2)。



・収入と労働時間と出張 年収700万以上は勤務時間8.7時間、時間外労働時間は14.4時間/月、泊まりがけ出張あり33%と多くなっているが、出張日数は6日/年で、交代勤務あり10%と少なくなっていた。

・職業生活満足度とプライベート生活満足度

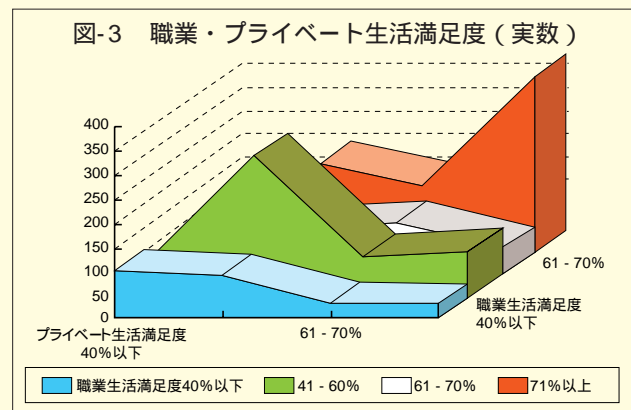
1. 年齢別 29歳以下は職業満足度40%以下が18%とプライベート満足度40%以下が11%で、職業生活の満足度が低い。39歳以下は16%と16%、49歳以下は9%と13%でプライベート満足度が低い。年齢が高くなるに従い職業とプライベート全体の満足度は高くなる。
2. 子供と介護する人有り 職業満足度40%以下には子供なしが16%で多く、プライベート満足度40%以下は介護有りが23%と多くなっていた。
3. 職業生活満足度とプライベート生活満足度 全体に満足度が高く、全体平均は職業62.7%、プライベート65.4%である。職業生活満足度70%以上でプライベート生活満足度40%以下と低下している69名/1886名とプライベート生活満足度70%以上で職業生活満足度40%以下と低下している33名、両方が40%以下と低下している96名がいた。職業生活の満足度が高く、プライベート生活満足度が低い群は、仕事の責任が重くなり多忙で、家事や育児や介護の負担もあると推定される(図-3)。

・職業生活・プライベート生活満足度が40%以下と低下する条件

- 1) 職業生活満足度40%以下に低下する条件
 1. 若年層に多い(34.6歳)

2. 未婚者・子供なし
 3. 低収入399万以下
 4. 喫煙者・アルコール飲用者
 5. 家事時間87.1分と少ない
 6. 体調不良休暇が多い
- 2) プライベート満足度40%以下に低下する条件
 1. 看護をしている
 2. 大学卒
 3. 課長クラス以上の役職
 4. 泊まりがけ出張あり30%で、10.4日/年
 5. 自由時間が110分と少ない
 - 3) 両方の生活満足度低下に影響する共通条件

1. 女性従業員が少ない(職業40.2%、プライベート40.1%)
2. 勤務時間が長い(8.8時間、8.9時間)
3. 時間外労働が多い(14.4時間、16.2時間/月)
4. 通勤時間が長い(53.4分、52.1分)
5. 定年までの勤務希望者が少ない(18%、14%)
6. 睡眠時間が少ない
7. 食事を作らない事が多い(20%、22%)
8. 帰宅時間が遅い・回数/月(7.8日、8日)
9. 健康不調者が多い
10. 半年間内のストレスありが多い(83.4%、85%)
11. ストレスが大きい(61%、67%)



4. まとめ

本調査は大企業で働く高学歴女性が多く、平均年齢は38.5歳で既婚者が半数以上を占め、子供がいる人が多い。全体にプライベート生活満足度が高く、職業生活満足度がやや低い。労働拘束時間が長いことや、体調不良とストレスの有無が職業・プライベート生活の満足度の低下に関連していた。